

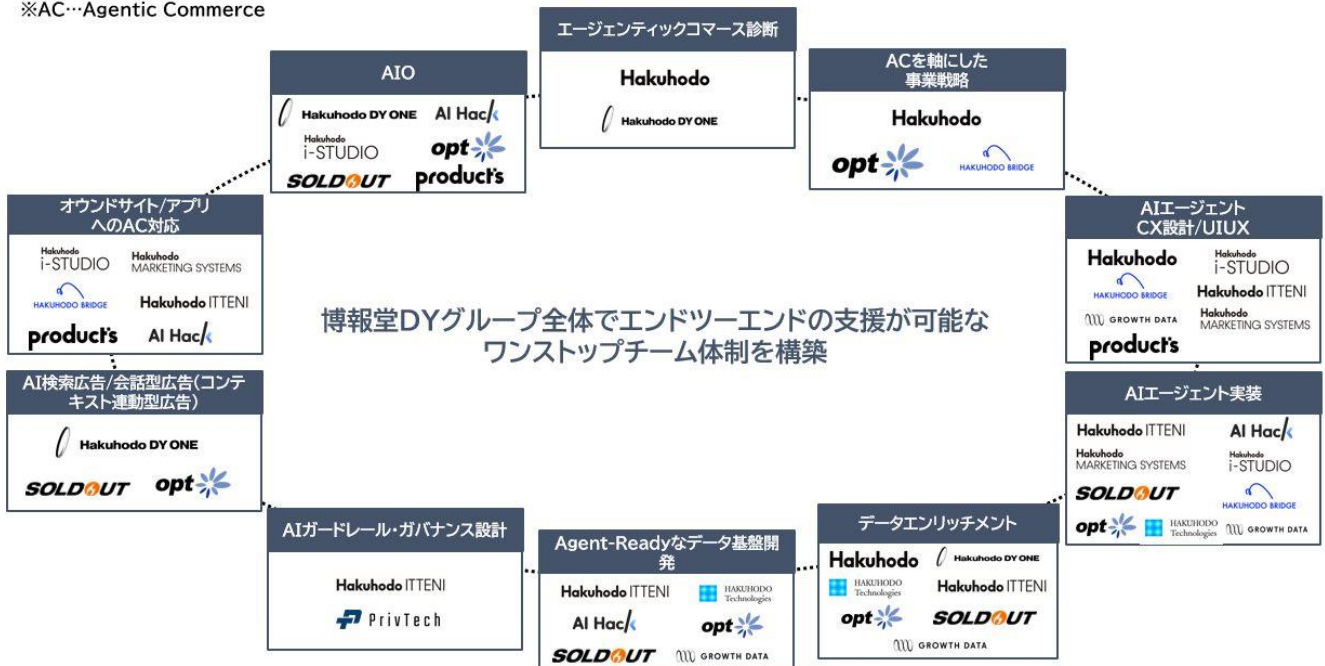
2026年7月7日

**AI エージェントが購買を代行する時代を見据えた
エージェントティックコマース領域の統合ソリューション「Agentic Commerce ONE™」を始動
博報堂DYグループ企業 11社と提携企業横断の戦略組織で運営
— 第一弾として、企業の対応状況を可視化する「エージェントティックコマース診断」を提供開始 —**

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）は、生活者に代わって AI エージェントが情報の検索・比較から決済までを代行する「エージェントティックコマース（Agentic Commerce）」の普及を見据え、博報堂DYグループ内のコマース領域の専門人材やナレッジをシームレスに統合し、戦略策定から実装・運用までをワンストップで支援するソリューションシリーズ「Agentic Commerce ONE™（エージェントティック・コマース・ワン）」を開始することをお知らせいたします。また、その第一弾ソリューションとして、企業のビジネス・テクノロジー両面での対応状況を客観的に評価する「エージェントティックコマース診断」の提供を開始いたします。



※AC…Agentic Commerce



■ 買物体験の劇的変化と「AI に選ばれる」時代の到来

生成 AI の急速な普及により、生活者の検索・購買行動は「自ら検索し、サイトを巡回する」買物スタイルから、「AI エージェントに要望を伝え、最適な提案・決済を代行してもらう」買物スタイルへと変革しつつあります。2026 年 1 月に米国ニューヨークで開催された世界最大級のリテールカンファレンス「NRF'26 Retail's Big Show」においても、エージェントティックコマースが大きく取り上げられました。このような環境下では、企業は「生活者に選ばれる」だけでなく、「AI に正しく理解され、選ばれる」ためのデータ設計やブランド体験の再構築が不可欠となります。

また、システム実装では AI エージェントと外部データソース等をシームレスに接続する「MCP (Model Context Protocol)」をはじめ、「UCP (Universal Commerce Protocol)」、「ACP (Agentic Commerce Protocol)」、「AP2 (Agent Payments Protocol)」といったエージェントや各種 EC/決済プラットフォームをつなぐ次世代標準プロトコルへの対応が、今後の市場優位性を決定づける要素となってきます。

■ 「Agentic Commerce ONE™」について

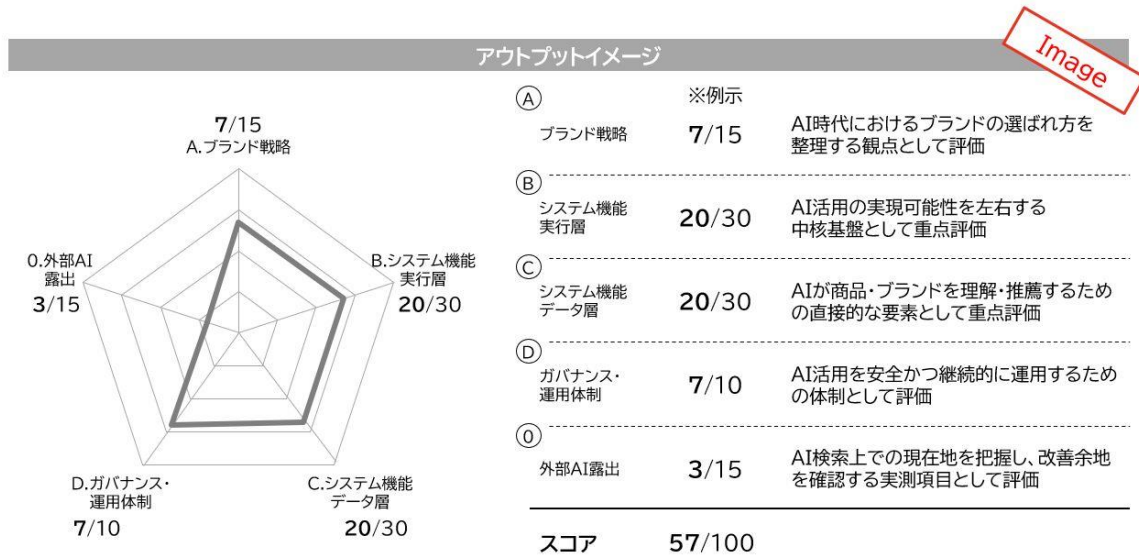
「Agentic Commerce ONE™」は、博報堂 D Y グループが持つ「生活者発想」の構想力と、高度な AI 実装力、マーケティング運用力を結集した統合ソリューション群の総称です。また、単なる AI ソリューションの導入に留まらず、エージェントティックコマースで変わる買物の未来を見据えた戦略（＝「勝ち筋」）から、ブランド体験設計、企業のバリューチェーン全体の変革、AI 対応型のオペレーティングモデル設計まで、エンドツーエンドでご支援するワンストップチームを組成します。

<Agentic Commerce ONE™のオフリングメニュー>



■ 第一弾：エージェントックコマース診断ソリューション

企業のエージェントックコマースの対応状況を「ビジネス視点（ブランド戦略・ガバナンス・運用体制）」と「テクノロジー視点（データ基盤・AI連携・AI Optimization (AIO))」の両面で診断し、自社の現在地を明らかにするとともに、エージェントックコマース時代に勝ち抜くために今後優先的に取り組むべき対応アクションを提示します。

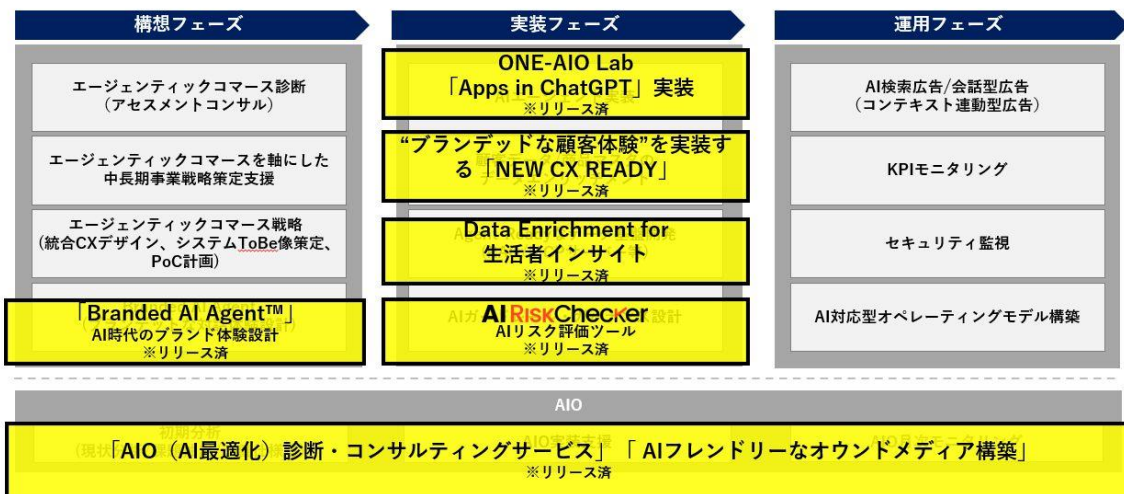


■ 明日から実践できるエージェントックコマース対応策

米国でも実装が始まったばかりで今後、こういった方式が浸透・定着するかはまだ不透明な部分も多いことも事実です。企業は、どのエージェントックコマースの実装パターン/シナリオに移行しても無駄にならない、“共通項”から着手を進めることが重要です。

博報堂DYグループおよび業務提携企業では明日から実践できるエージェントックコマース対応策として、現在以下のソリューションをリリースしています。

< Agentic Commerce ONE™の既存のソリューション >



- ◆ AIO (AI 最適化) 診断・コンサルティングサービス
 - * ニュースリリース: https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/detail/index.html?id=news-release_202503051695
- ◆ AI フレンドリーなオウンドメディア構築ソリューションを提供開始
 - * ニュースリリース: <https://www.i-studio.co.jp/news/release/20250617-ai-solution/>
- ◆ 「Branded AI Agent™」
 - * ニュースリリース: <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/120565/>
- ◆ “ブランデッドな顧客体験”を実装する「NEW CX READY」
 - * ニュースリリース: <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/121790/>
- ◆ ONE-AIO Lab 「Apps in ChatGPT」実装
 - * ニュースリリース: https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/detail/index.html?id=news-release_202602125337
- ◆ Data Enrichment for 生活者インサイト
 - * ニュースリリース: <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/267204/>
- ◆ AI リスク評価ツール「AI Risk Checker」
 - * ニュースリリース: <https://service.privtech.co.jp/ai-risk-management/ai-risk-checker>

■ 博報堂 D Y グループのワンストップ支援体制

- 株式会社博報堂

Agentic Commerce ONE™関連のプロジェクトを統括及び事業戦略・Branded AI Agent™ (CX デザイン)・Data Enrichment for 生活者インサイト (データエンリッチメント)・プラットフォーム一連携を提供。
- 株式会社 Hakuhodo DY ONE

主に AIO (AI 最適化) 診断/コンサルティングサービス・Apps in ChatGPT 実装・AI 検索広告/会話型広告 (コンテキスト連動型広告) サービスを提供。
- 株式会社博報堂テクノロジーズ

主に AI エージェント実装・データエンリッチメント・Agent-Ready なデータ基盤開発サービスを提供。
- 株式会社 HAKUHODO ITTENI

主に CX 設計から AI エージェント実装・Agent-Ready なデータ基盤開発・AI ガードレール・ガバナンス設計を提供。
- 株式会社 HAKUHODO BRIDGE

Branded AI Agent™の CX 設計/UIUX から実装サービスを提供。
- 株式会社博報堂マーケティングシステムズ

主に AI エージェント CX 設計/UIUX・AI エージェント実装サービスを提供。
- 株式会社博報堂アイ・スタジオ

主に自社 EC・オウンドサイトのエージェントイックコマースの体験設計及び実装を担当。
- 株式会社博報堂プロダクツ

AI エージェント CX 設計・UI/UX 設計を含む AC 体験設計・実装から、自社 EC、・オウンドサイトやアプリにおける AIO 対策までを提供。

- 株式会社グロースデータ
主に AI エージェント CX 設計・UI/UX 設計から AI エージェント実装までを一気通貫で提供。あわせて、データエンリッチメントおよび Agent-Ready なデータ基盤開発を提供。
- ソウルドアウト株式会社
主に AIO (AI 最適化) 診断/コンサルティングサービス・データエンリッチメント・Agent-Ready なデータ基盤開発サービス・AI エージェント実装・AI 検索広告/会話型広告 (コンテキスト連動型広告) を提供。
- 株式会社オプト
主に AIO (AI 最適化) 診断/コンサルティングサービス・データエンリッチメント・Agent-Ready なデータ基盤開発サービス・AI エージェント実装・AI 検索広告/会話型広告 (コンテキスト連動型広告) などを提供。

※業務提携企業

- 株式会社 AI Hack
AIO ツール「AI Hack」の開発/提供・Apps in ChatGPT やエージェントイック Web/コマースの実装サービス等を提供。
- Priv Tech 株式会社
AI リスク評価ツール「AI Risk Checker」の開発/提供・AI ガードレール・ガバナンス設計、AI セキュリティソリューション等を提供。

博報堂 D Y グループは今後、博報堂 D Y グループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動として、「Agentic Commerce ONE™」のソリューションラインナップを順次拡充し、企業の次世代コマース戦略をエンドツーエンドで支援してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 大貫・丸山 koho.mail@hakuholdo.co.jp